

## 令和5年度 校長だより 第6号

## 1 2学期が始まりました。

全国各地で記録的な猛暑が続いた夏、日中はまだ暑さが厳しいものの、朝晩は秋の気配を感じるようになりました。

2学期が始まり、今年も残り4ヶ月。まもなく就職試験に臨む皆さん、科学技術高校で学んできたことを自信に、筆記や面接で存分に実力を発揮してください。また、進学を目指す皆さん、総合型選抜や学校推薦型選抜がすぐそこまで迫ってきています。それぞれ自分の道を切り開いていってください。1・2年生の皆さんは、3年生の姿をみて、それぞれ2年後・1年後の自分をイメージしながら、有意義な高校生活にしてください。



## 2 物事を理解するという事

以前読んだ本のなかから、「理解」の四段階」という内容の文を一部紹介したいと思います。

私は常々、「物事を理解する」ことには四つの段階があると考えています。

人の話を聞いたり本を読んだりして学び、「わかった」と感じるのは、実は最も浅いわかり方です。これはあくまで知識の習得であり、これだけでは、本当の意味で物事を理解するというレベルからは程遠いと言わざるを得ません。

物事を理解するための第二段階というのは、第一段階で学んだことを他者に話をしながら伝えるということです。得られた知識を自ら言葉にしてみることで、自分はその知識をどれだけ理解しているかがわかります。自分では「わかっている」つもりでも、実際に言葉にしてみると案外わかっていなかったという体験をされた方は多いと思います。

第三段階は、得られた知識を今度は書いてみることです。これは、人に話をするよりも少し深く物事を理解することができます。しかしながら、これでもまだ本当の意味で「わかった」というレベルには達していません。

第四段階、つまり最も深いわかり方というのが、実践してみるということです。たとえば、水泳の本を読んで、頭では理解したつもりであっても、やはり実際にプールに入ってみて、水を飲んだりしながら練習しなくては実際に泳ぐことはできません。それと同じです。

## 「わかる」ということの四つの段階

- 第一段階 人の話や本を読んでわかる → 浅い
- 第二段階 人に伝える → 理解度が測れる
- 第三段階 書いてみる → 少し深い理解度
- 第四段階 実践してみる → 最も深いわかり方

(鍵山秀三郎著『鍵山道場』 人間力を磨く法則) から)

## 3 「根を張れば 高く伸びる」

「校長だより」前号で、「根を深く張ることで竹が高く伸びる」という例えを紹介しました。地道に目標へと向かって行動してきた人は、この秋、徐々に成果が現れはじめ、きっと「未見の我」と出会えるでしょう。焦らずじっくりと、「微差」を重ねていきましょう。

「『可能性の扉を開く鍵』がきっと見つかる」 ☆科学技術高校☆